

佐藤ガス通信

株式会社 佐藤ガスサービス

〒252-0311

神奈川県相模原市南区東林間4-44-4

tel 042-743-0157 fax 042-742-3901

mail info@satogasservice.jp

hp <http://www.satogasservice.jp>

2022.1月号(第129号) 2022.1.15

あけましておめでとうございます。本年も佐藤ガスサービスをよろしくお願ひいたします。

年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり感謝申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

新年早々ネガティブな話しになってしまい大変恐縮ではありますが、昨年秋頃からのガス給湯器等の納期の遅れは年を明けても回復しておらず、商品によっては注文をしても未だ「納期未定」としかメーカーから回答を得られない状況です。給湯器の買い替えをお考えの場合はお早めのご連絡をお願ひします。

また原油価格も小幅な値動きはあっても高値を推移しており、2022年も引き続きエルピーガス業界にとっては厳しい年となりそうです。大変バ苦しくありますが今後の情勢によっては再度値上げを実施させていただくかもしれません。



ん。その際には何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

もはや一販売店の企業努力でどうにか出来る段階ではなく業界をあげての再編改革が必要なのですが、このような問題はなかなか進まないのが世の常なのかと歯痒い思いです。

そんな中、弊社としては今後新たな事業として生活支援サービスの提供などを思案しております。

コロナ禍も3年目になる事ですし、2022年は変化を付けて進んでいく年にしていましよう。

代表 佐藤 俊太郎

着衣着火

『**着衣着火**』という言葉をご存じですか?あまり聞き慣れない言葉ですが、調理中のか스コンロの火や仏壇のろうそくの火などが、『今着ている服』についてすぐに燃え上がる現象を『**着衣着火**』といいます。

衣類の袖口などから着火するケースが多く発生していますが、腹部などから燃え出すと大変危険で重度のやけどや死亡にまで至ることが非常に多くあり、大変恐ろしい現象です。『**着衣着火**』は、**ちょっとした不注意で誰にでも起こりうる現象であります**。大変危険であるにもかかわらず、意外と知られていない現象ですが毎年全国で100名前後の方が『**着衣着火**』でお亡くなりになっています。

また、冬場のパジャマなどにも使用される**表面が起毛している生地は火が一気に燃え広がる『表面フラッシュ現象』**が起こりやすい素材です。綿やレーヨン、キュプラなどのセルロース系繊維なども燃えやすいといわれています。

着衣着火を防ぐために東京消防庁は以下のように呼び掛けています。

- 調理中は、服のすそや袖が炎に接しないように注意する
- マフラー、ストールなどは外す
- か스コンロの上や奥の物を取るときなど、こまめに火を消し、衣服に炎が燃え移らないよう注意する
- 鍋等の底から炎がはみ出さないよう、適切な火力に調整する
- 防炎品のエプロン・アームカバーを使い、調理中の着衣着火を予防する



参考:埼玉西部消防局・東京消防庁

Youtube チャンネル

弊社が加入している(一社)全国LPガス協会では、Youtubeのチャンネルを開設しています。

新作の【いいね!ガスでもっといい暮らし】動画が

3本公開されましたので、ぜひご覧ください♪



QRコードを読み取って
ください😊

